

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 日本食品化工株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5	
本票作成	部署名：水島工場 生産技術課 環境技術係				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	でんぷん糖類製造業、従業員約70名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		倉敷市児島塩生2767-25	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和5)年度排出量		目標年度(令和6年度)	
	47,514 t CO ₂	50,020 t CO ₂		47,039 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和5)年度排出量	
	①	水島工場		50,020 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和6年度 (5箇年度)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(5)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 5.3 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(5)年度	目標年度
			CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和5年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】 生産量の回復等に伴い、生産設備の稼働時間も増加していますが、非化石エネルギー使用量の削減は進んでいます。今回の法改正及び制度の見直しにより、排出量が増加し大きく見えてしまっています。高効率ボイラ更新後の期間が短く、十分な効果が得られていませんが、今後は削減に寄与する見込みです。					

【推進体制】

工場で推進委員長を中心としたエネルギー管理体制を整備し、省エネ推進委員会を年2回開催、又、工場別の状況を確認・認識するため、全社の省エネ推進委員会も年2回開催している。ISO14001認証を取得済み。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	(令和5年度実施分) 効率化運転によるエネルギーロス削減。(CO2削減 244t/年) 更新計画に沿ったナトリウム灯及び、蛍光灯のLED化更新。(CO2削減 11t/年) スチームトラップ点検、圧縮空気の漏洩調査、保温断熱診断及び補修。 ファンポンプのインバータ化 (CO2削減 25t/年) 高効率小型ボイラへ更新 (CO2削減 75t/年) (今後実施予定分) 工場照明のLED化更新。 スチームトラップ点検補修、保温断熱診断及び、エア漏れ調査補修の継続。 ファン・ポンプのインバータ化。 エア流量計追加設置。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	バイオマス燃料の有効利用を継続中。
その他	無	

【その他特記事項】

ダイヤモンドリスポンスプログラムへ参加を継続